

日本郵政とアフラックとの 資本関係に基づく戦略提携について

2019年2月8日

日本郵政株式会社

戦略提携の目的

日本郵政株式会社(取締役兼代表執行役社長:長門正貢 以下、「日本郵政」)とアフラック・インコーポレーテッド(会長兼社長兼最高経営責任者:ダニエル P. エイモス)及びアフラック生命保険株式会社(代表取締役社長:古出眞敏 以下、「アフラック生命」)は、以下のとおり、資本関係に基づく戦略提携(以下、「戦略提携」)に合意しました

日本郵政とアフラック生命は、長年に亘り、日本郵便株式会社(以下、「日本郵便」)および株式会社かんぽ生命保険(以下、「かんぽ生命」)とともに行ってきたがん保険に関する様々な取組みを通じて、ビジネスパートナーとして強固な信頼関係を確立してきました。

戦略提携は、これまでのがん保険に関する取組みについて再確認すると共に、日本郵政によるアフラック生命の親会社アフラック・インコーポレーテッドへの投資を通じて、アフラック生命のビジネスの成長が日本郵政への利益貢献につながるという双方の持続的な成長サイクルの実現を目指すものです。

戦略提携の概要

戦略提携は、以下の3本の柱によって構成されます。

(1) 資本関係

日本郵政は、アフラック・インコーポレーテッド普通株式の発行済株式総数の7%程度を、信託を通じて取得します。取得から4年経過し議決権が20%以上となった後(※)、持分法適用によりアフラック・インコーポレーテッドの利益の一部を日本郵政の連結決算に反映させることを目指します。これは、日本郵政によるアフラック・インコーポレーテッドの支配権もしくは経営権の獲得、または経営への介入を目的とするものではありません。

(※)アフラック・インコーポレーテッドでは、定款の規定により、原則として、普通株式を48か月保有し続けると、1株につき10議決権が割り当てられます。

(2) がん保険に関する取組みの再確認

日本郵政、日本郵便、かんぽ生命(合わせて以下、「日本郵政グループ3社」)及びアフラック生命は、がん保険を通じてより多くの人々に安心をお届けすることにより、お客様本位の業務運営を実践しています。

(3) 新たな協業の取組みの検討

がん保険に関する取組みに加えて、デジタルテクノロジーの活用、新商品開発における協力、国内外での事業展開や第三者への共同投資、資産運用における協力など新たな協業の取組みを検討し、シナジー効果のさらなる発揮を目指します。

戦略提携に関する3本の柱の具体的内容 ①

(1) 資本関係

日本郵政は、必要な許認可等を前提として、アフラック・インコーポレーテッド普通株式の発行済株式総数(自己株式を除く)の7%程度を、信託を通じて、1年以内を目処に米国での市場取引またはブロック取引により取得します(参考1参照)。なお、株式取得の具体的な条件等については現時点では未定です。取得から4年経過し議決権が20%以上となった後(※)、持分法適用によりアフラック・インコーポレーテッドの利益の一部を日本郵政の連結決算に反映させることを目指します。

これは、日本郵政によるアフラック・インコーポレーテッドの支配権もしくは経営権の獲得、または経営への介入を目的とするものではありません。アフラック生命のビジネスの成長が日本郵政への利益貢献につながるという双方の持続的な成長サイクルを実現し、互いの株主価値の向上を目指すものです。

(※)アフラック・インコーポレーテッドでは、定款の規定により、原則として、普通株式を48か月保有し続けると、1株につき10議決権が割り当てられます。なお、議決権の行使は、信託受託者によって行われ、議決権の20%を超える部分については、他の株主の投票結果を反映させた比例的投票を行うこととしています。

日本郵政は、アフラック・インコーポレーテッド普通株式を取得した後は、36年連続の増配実績のあるアフラック・インコーポレーテッド普通株式の配当金の受領を見込むことができます。また、アフラック・インコーポレーテッドが継続的に実施する自社株買いによる株主還元を享受できます。

戦略提携に関する3本の柱の具体的内容 ②

(2) がん保険に関する取組みの再確認

日本郵政及びアフラック生命は、日本郵便及びかんぽ生命との間で実施してきたがん保険に関する取組みを、以下のとおり再確認し、今後も進展させるべく合理的な努力を行います。

① がん保険商品のニーズとお客様本位の業務運営

日本郵政グループ3社及びアフラック生命は、がん保険を通じてより多くの人々に安心をお届けすることにより、お客様本位の業務運営を実践しています。

② 営業上重要な商品との位置付け、目標設定等

日本郵政グループ3社において、アフラック生命のがん保険を営業戦略上重要な商品と位置づけ、かんぽ生命の保険商品と同様に社内目標を設定し、推進管理を行っています。

③ 日本郵便による代理店業務

日本郵便は、アフラック生命の募集代理店としてがん保険を販売しています。

④ かんぽ生命による代理代行

かんぽ生命は、アフラック生命の募集代理店としてがん保険を販売し、かつ日本郵便によるアフラック生命のがん保険販売を支援するための教育の代行業務も行っています。

戦略提携に関する3本の柱の具体的内容 ③

⑤ かんぽ生命による再保険引受け

かんぽ生命は、日本郵便及びかんぽ生命が取り扱ったアフラック生命のがん保険の引受リスクの一定割合について再保険引受けを行っています。

⑥ がん保険販売、代理店手数料の支払い、及び保険金・給付金の支払い

(ア) 日本郵便及びかんぽ生命は、年間200億円を超えるがん保険の新契約年換算保険料の実績を挙げています。

(イ) 日本郵便及びかんぽ生命は、アフラック生命から年間150億円を超える手数料の支払いを受けています。

(ウ) 2008年以降に日本郵便及びかんぽ生命が販売したアフラック生命のがん保険に基づいて支払った保険金・給付金は、累計で件数が1万6,000件、金額が130億円を超えており、多くのお客様にお役立ていただいています。

⑦ がんに関する啓発活動等

日本郵政グループ3社及びアフラック生命は、協力して、がんに関する啓発活動、がん検診の推進、がんに関するチャリティイベントへの協賛、参加等の活動を行っています。

戦略提携に関する3本の柱の具体的内容 ④

(3) 新たな協業の取組みの検討

以下を含む新たな協業の取組みを検討します。

- ① お客様本位の業務運営のベストプラクティスのための戦略的取組み
お客様本位の業務運営のベストプラクティスのための戦略的取組みとして、各種プロセスにおけるデジタルテクノロジーの活用を検討します。
- ② お客様本位の業務運営のための新商品開発における協力
お客様の多様なニーズにお応えすること、かつ、日本郵政グループ3社及びアフラック生命の各社の企業価値向上に資することを目的に、日本郵便及びかんぽ生命又はいずれかにおいて販売するアフラック生命の新商品開発を検討します。

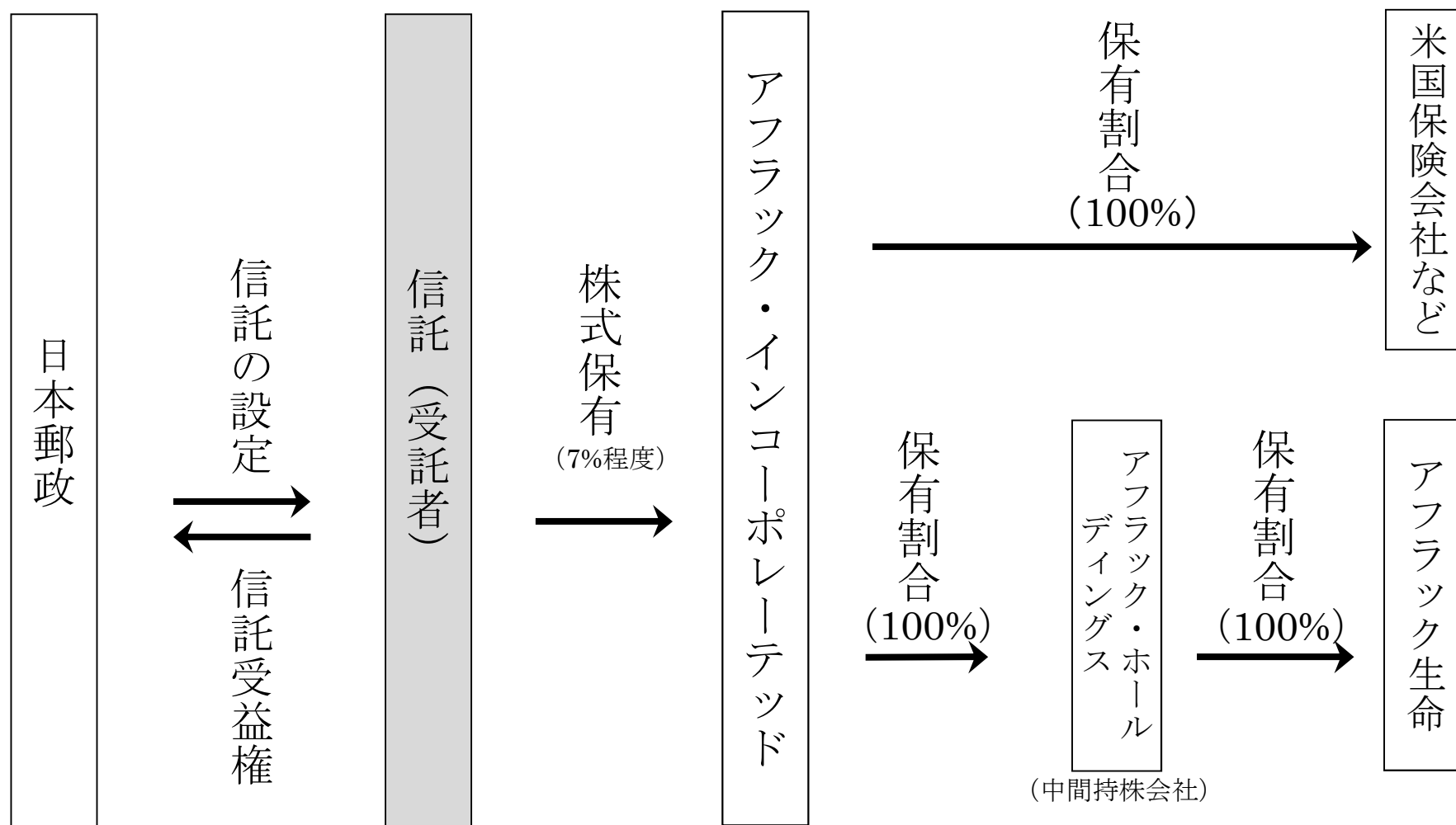
お客様の多様なニーズにお応えするため、日本郵便及びかんぽ生命又はいずれかにおいて販売するかんぽ生命又はアフラック生命の新商品の共同開発において相互に協力することを検討します。
- ③ 国内外での事業展開及び第三者への共同投資における協力
国内外での事業展開及び第三者への共同投資において相互に協力することを検討します。
- ④ 資産運用における協力
アフラック・インコーポレーテッドのグループ企業が有するグローバルな資産運用のプラットフォームを活用して、日本郵政の企業グループのために資産運用を行う機会を作ることを検討します。

最高経営者会議と戦略提携委員会

日本郵政、アフラック・インコーポレーテッド及びアフラック生命は、日本郵政及びアフラック・インコーポレーテッドの各最高経営執行者による定例会議を「最高経営者会議」として引き続き活用し、戦略提携に関する事項も協議します。

また、これまで日本郵政グループ3社及びアフラック生命の間で開催してきた、各社の代表執行役、代表取締役等による定例会議を「戦略提携委員会」として引き続き活用し、戦略提携に関する事項も協議します。

(参考1) 資本関係構築に向けた信託ストラクチャー



日本郵政によるアフラック・インコーポレーテッドの支配権もしくは経営権の獲得、または経営への介入を目的とするものではありません。アフラック生命のビジネスの成長が日本郵政への利益貢献につながるという双方の持続的な成長サイクルの実現を目指すものです。

(参考2) 各社の概要 ①

日本郵政株式会社の概要

- 1) 名称 : 日本郵政株式会社
- 2) 事業内容 : グループの経営戦略策定
- 3) 設立年月 : 2006年1月
- 4) 所在地 : 〒100-8791 東京都千代田区大手町2-3-1
- 5) 代表者 : 取締役兼代表執行役社長 長門 正貢
- 6) 従業員数 : 2,422名(2018年3月末)

日本郵便株式会社の概要

- 1) 名称 : 日本郵便株式会社
- 2) 事業内容 : 郵便業務、銀行窓口業務、保険窓口業務、印紙の売りさばき、地方公共団体からの受託業務、前記以外の銀行業、生命保険業および損害保険業の代理業務、国内・国際物流業、ロジスティクス事業、不動産業、物販業など
- 3) 設立年月 : 2007年10月
- 4) 所在地 : 〒100-8792 東京都千代田区大手町2-3-1
- 5) 代表者 : 代表取締役社長 横山 邦男
- 6) 従業員数 : 193,910人(2018年3月末)

株式会社かんぽ生命保険の概要

- 1) 名称 : 株式会社かんぽ生命保険
- 2) 事業内容 : 生命保険業
- 3) 設立年月 : 2006年9月
- 4) 所在地 : 〒100-8794 東京都千代田区大手町2-3-1
- 5) 代表者 : 取締役兼代表執行役社長 植平 光彦
- 6) 従業員数 : 7,490名(2018年3月末)
- 7) 総資産 : 76兆8,325億円(2018年3月末)
- 8) 収入保険料 : 4兆2,364億円(2018年3月期の保険料等収入)

(参考2) 各社の概要 ②

アフラック・インコーポレーテッド(最終持株会社)の概要

- 1) 名称 : Aflac Incorporated(アフラック・インコーポレーテッド)
- 2) 事業内容 : グループ持株会社
- 3) 創業 : 1973年4月
- 4) 所在地 : 米国ジョージア州コロンバス市
- 5) 代表者 : 会長兼社長兼最高経営責任者 ダニエル P. エイモス
- 6) 総資産 : 1,473億5,600万ドル(連結ベース/2018年3月末)

アフラック・ホールディングス・エルエルシー(中間持株会社)の概要

- 1) 名称 : Aflac Holdings LLC(アフラック・ホールディングス・エルエルシー)
- 2) 事業内容 : 保険持株会社、子会社の経営管理業務及びそれに付随する業務
- 3) 創業 : 2016年12月
- 4) 所在地 : 米国ジョージア州コロンバス市
- 5) 代表者 : 社長 ダニエル P. エイモス

アフラック生命保険株式会社の概要

- 1) 名称 : アフラック生命保険株式会社
- 2) 事業内容 : 生命保険業
- 3) 創業 : 1974年11月
アメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ コロンバス(日本支店)
(アフラック生命保険株式会社は2018年4月2日から営業開始)
- 4) 所在地 : 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
- 5) 代表者 : 代表取締役会長 チャールズ・レイク
代表取締役社長 古出真敏
- 4) 従業員数 : 4,946名(2018年3月末)
- 5) 営業拠点数 : 85営業部・支社
- 6) 総資産 : 11兆9,699億円(2018年3月末)
- 7) 収入保険料 : 1兆4,439億円(2018年3月期の保険料等収入)